

奈良県平和委員会事務局長の河戸氏が来県！

8月21日（日）～23日（火） 定年前に全国の平和委員会と交流！

8月21日（日）、午後12時頃、奈良県平和委員会の事務局長・河戸憲次郎さんが茨城を訪問しました。河戸さんは京都にお住まいですが、奈良県の現役教員です。来年3月で定年退職を迎えます。その記念に夏休みの40日間を全国各地の平和委員会を巡って学んでいます。前日は相模原市で基地見学や交流を行い、高速道路で鹿嶋市に到着しました。

河戸さんは30年ほど前に現役教員のまま奈良県平和委員会の事務局長を引き受けました。活躍はなほだしく、当初5人程度の会員を現在1000人近い大きな団体へと成長させました。

鹿嶋の「桜花公園」に・・・

21日の午後は木村事務局長の案内で、特攻兵器で有名な「桜花（おうか）」の展示がある鹿嶋市の桜花公園の視察。掩体壕の中に「桜花」のレプリカがあり、桜花による突撃部隊であった「神雷部隊」の碑に臨みました。次いで鹿嶋神宮を見学、最後に筑波大と国際経済大学の決勝戦が行われている鹿嶋サッカースタジアムを視察しました。

午前中は東海第二原発視察 午後の予定はキャンセル

22日は、東海第二原発、県平和委員会事務所、水戸市平和館、偕楽園、懇親会等を計画しました。原発に案内役は原水協の加藤さんをお願いしました。台風の影響で昼ごろから暴風雨となり、午後の予定はすべてキャンセルになりました。



【大型看板の前
にて、奈良平和
委員会の河戸さ
んと、東海村平
和委員会の加藤
さん】

【阿見平和会館
前・人間魚雷回
天（映画「さ
くら花」で使用
の模型）】



「百里基地闘争学習会」「百里平和公園」「阿見平和会館」 「カラオケ交流」も！

23日は、伊達代表理事が主催する「第2回・百里基地闘争学習会」へ参加、終了後百里平和公園の見学。その後阿見町へ移動して水野さんと合流。阿見平和会館へ見学し、夕方から地元でカラオケ交流でした。翌23日茨城を離れ、2泊3日の茨城視察でした。



【百里・整備さ
れた九条の丘
（旧射撃場山）
に立つ】

東海第二原発は廃炉に！

「核のゴミと私たち」

講師：小出裕章氏

とき 10月15日（土） 13：30～
ところ ワークプラザ勝田 多目的ホール
370名定員

入場料：700円（当日900円 学生無料）

★入場券（700円）は、事務局に30枚確保してます。
参加ご希望の方は、事前に事務局まで！！

「内原・友部平和の会」が分離し、友部平和の会が独立！

内原は水戸市平和委員会（仮称）の再結成の核に！

6月の大会でも経過が報告されましたが、内原・友部平和委員会が分離しました。

現在水戸地域の平和委員会として「水戸西平和委員会」「水戸平和委員会」「みとみなみ平和の会」、職場平和委員会として「花だいこん」「はばたき」があります。2000年ころ地域の「水戸市平和委員会」は単一の組織で活動していました。しかし会員数も増え、地域も広いという事で3つに会に分かれて活動することとなりました。

また、内原町と友部町のは行政区は別でしたが、地理的に近いこともあり、「内原・友部平和の会」を結成して運動を進めていました。その後、市町村合併により、内原町は水戸市、友部町は笠間市と合併しましたが、平和委員会としての組織変更はしませんでした。

一方、水戸市では3つの会のうち、「水戸平和委員会」「みとみなみ平和の会」は、さまざまな事情から活動が停滞してき

ました。このような中、「水戸市の平和運動を活性化させるにはどうしたらいいか」等について代表理事会、事務局会議等で話し合い、また現地の役員会等を中心に相談し、具体化を進めました。

2016年6月になり、内原・友部平和委員会を「内原」と「友部」に分離し、友部は「友部平和の会」として独立、「内原」は「水戸西平和の会」に所属する会員を除いた会員を結集して、新たに「水戸平和の会（仮称）」を結成することがいいのではないかと結論に至りました。

2016年6月30日（木）、内原・友部平和の会の総会を開催し、主旨や経過等を報告して話し合った結果、原案が承認されました。

現在、「友部平和の会」は独立し活動をしています。「水戸市平和の会（仮称）」は、世話人会を結成し、役員体制、活動内容の具体化等に関して話し合いを進めています。

「現代の治安維持法」といわれ、国民の反対で、過去3回も廃案に!

「共謀罪」の制定を狙う安倍政権!! 公明党も同調!

安倍政権は「現代の治安維持法」と言われる「共謀罪」の法案を、今秋の臨時国会に「テロ等組織犯罪準備罪」を提出する予定です。中身は過去3回も国会に提出しながら「人権侵害だ」との批判を受けて、廃案に追い込まれた「共謀罪」そのものです。

「共謀罪」とは、「犯罪の遂行に向けた具体的かつ現実的な合意があれば、実際に犯罪が行われなくても犯罪とする」というひどい法律です。2006年5月16日の衆院法務委員会での法務省刑事局長の答弁によると「瞬（まばた）き

であろうとも、あるいは黙示の、うなづくという（行為も）共謀の一部を構成することは当然ある」と答弁しています。

もしこの法律が成立すれば、市民のどんな行為でも「共謀だ」と「捜査側」が判断する危険があります。「捜査側」が「判断」するので、国会前で抗議行動をしている団体を日常的に監視することもできます。

5月に成立した問題の多い「盗聴法」の適用範囲を、電話やネットだけでなく室内の盗聴まで拡大する可能性は高いといえます。最大の問題は、合意だけで犯罪が成立するというその判断を

「捜査側」がすることです。「組織的犯罪」とであると認定するのも「捜査側」ですから、権力側のやりたい放題になります。オリンピックのテロ対策を口実に、国民監視の体制がさらに強化されます。

現在でも「でっち上げ事件」や「違法な捜査」や取り調べにより冤罪事件も繰り返されています。現在、大分県警が「連合大分」の支部が入る建物の敷地に無断で立ち入り監視カメラを設置していたことが大きな問題になっています。「共謀罪」が成立すれば、これらの行為は合法になります。戦前、国民の弾圧に猛威を振るった「特高警察」の復活も現実味を帯びてきます。

国会に提出されれば数の力で強行することははっきりしています。絶対に許してはなりません。

「金口木舌」を知る「終戦?」記念日!! 琉球新報 9月2日付

沖縄の二大新聞は「沖縄タイムス」と「琉球新報」です。沖縄のシェアを二分しています。一方全国紙と言われる「朝日」・「読売」・「毎日」などの大手新聞でも本州から郵送で送られます。以前は沖縄でも全国紙が販売されていました。沖縄県民は「沖縄タイムス」と「琉球新報」を残したようです。

以下は、琉球新報にある「金口木舌（きんこうぼくぜつ・きんこうもくぜつ）」です。「天声人語」のようなものですが、その視点にはいつも感心させられます。

なお「金口木舌」とは、「すぐれた言論で世の人を指導する人の例え」です。

「金口木舌」（琉球新報）

▼今日は71年前にアジア・太平洋戦争が終結した日である。いや、8月15日だろうとの指摘もあるかもしれない。日本では8.15がお決まりだが、国際標準では大日本帝国が戦艦ミズーリ号で連合国に降伏調印した9月2日終戦の日だ。

▼米・仏など旧連合国の対日戦勝記念日（VJデー）は9月2日。旧ソ連や中国は9月3日。例外的に韓国、北朝鮮、英国が8月15日だ。

▼なぜ8.15が出て来たか。佐藤卓己著「八月十五日の神話」に詳しい。1945年8月10日未明の午前会議でポツダム宣言受諾が決まり、日本放送協会と同盟通信社が海外に伝えた。国際的に重要な正式受諾は14日。15日は天皇が国民向けにラジオ放送した日ではない。

▼戦後数年間は全国紙で「9.2降伏記念日」が報じられていたが、55年ごろから「8.15終戦の日」報道が定着したという。

▼8月15日が公式に終戦記念日となったのは、戦後18年たった63年5月、池田内閣での閣議決定だ。この年から毎年8月15日に全国戦没者追悼式が行われるようになった。「降伏」の屈辱から目を背け、記憶の選択と忘却が進んだ。「敗戦」を「終戦」にすり替えた意識とも重なる。

▼8.15は国民にとって都合よく後付けでつくられた日と言えようか。自国中心主義から離れて、歴史を冷静に多角的に見直す。それが、いつか来た道を防ぐことにもつながる。



強行採決から1年

戦争法廃止! 9.19 国会正門前行動

とき : 9月19日 (月・祝日)

15:30~17:30

ところ : 国会正門前

「戦争法強行採決から1年。
私たちはあきらめない!
忘れない!戦争法は廃止を!

「沖縄の高江オスプレイパッド建設中止!
辺野古新基地建設計画は断念を!

主催:「戦争させない・9条壊すな!総がかり行動
実行委員会」